

L.) in tropical upland rice. *Weed Research*, Japan 1976, 16, 1-5.

Sonwa, M. M.; König, W. A. Chemical study of the essential oil of *Cyperus rotundus*. *Phytochemistry* 2001, 58, 799-810.

Toong, Y. C.; Schooley, D. A.; Baker, F. C.

Isolation of insect juvenile hormone III from a plant. *Nature* 1988, 333, 170-171.

Ueki, K.; Yamasue, Y. Studies on control of nutsedge, *Cyperus rotundus* L., a perennial weed in upland fields. *Weed Research*, Japan 1968, 7, 38-40.

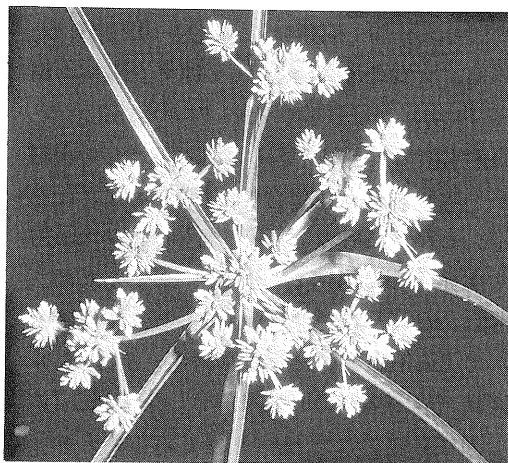
外来(帰化)雑草・豆知識 (2)

— メリケンガヤツリ —

今回はカヤツリグサ科のメリケンガヤツリを紹介する。

メリケンガヤツリは関東以西の湿地や溝、湿った畑地などにも生育するが、特に最近では河川の岸に広がっており、筆者の歩いた限りでも関東の利根川、荒川、多摩川、浅川、相模川、鶴見川、京都の鴨川といずれも川岸を歩いてみると、しばしば見られる雑草となっている。まだ、水田での被害の報告は聞いていないが、水田に発生すると難防除雑草となるので十分に警戒を要する種である。⑤

▼花期



▲花(果)序

メリケンガヤツリ [カヤツリグサ科]
Cyperus eragrostis Lam.

熱帯アメリカ原産の多年生草本で、南北アメリカ、南ヨーロッパ、アジア、オセアニアの温帯～熱帯に分布する。茎は叢生し、3稜形で高さ30～100cm。葉は茎とほぼ同じ長さで縁はざらつき、基部は鞘となって茎を包む。夏～秋にかけて、茎の先に長い葉状の総包片を4～7個つけ、総包片の中心から長さ1～10cmの花柄を数個～10個以上出し、その先に小穂が密集して球状になった花穂をつける。小穂は線形で扁平。種子と根茎により繁殖するが、根茎による繁殖が著しい。日本には1950年代に入ったといわれる。

(日本帰化植物写真図鑑, 全国農村教育協会発行より転載)